ほんものの体験交流で

徳島県・南阿波

新たな出会いのはじまり
"南阿波よくばり体験"

南阿波よくばり体験は、徳島県南部の海部（カイフ）地域の中で、自然体験、スポーツ、アウトドア、漁業、農林業、味覚体験（海産物加工）、伝統工芸体験（地場産業）、歴史文化体験などの68種類の体験プログラムを用意しています。半径25キロメートル（車で30分）以内ですべての体験ができる南阿波は、よくばりな体験エリアです。

2004年にスタートした南阿波よくばり体験は、現在までに33校の教育旅行を受け入れ、昨年10、11月に初めて関東から2校の高校を受け入れています。ご利用いただいた高校の校長からは「今まで同行した修学旅行の中で、1番もしくは2番目に良い修学旅行だった」というお言葉もいただいており、高校生向けのプログラムとしても十分満足していただける内容になっています。

体験プログラムの特徴としては、この地域にたくさん上陸するウミガメの観察、知られざる清流「海部川」での渓流釣り、無人島牟岐大島でのシュノーケリングや出羽島の心太作りとトレッキング、鳴り物入りで阿波踊りの踊り方を習い踊る阿波踊り体験、四国霊場88ケ所お遍路の体験など、南阿波よくばり体験ならではの体験を多数ご用意しております。

また、伊勢海老刺し網体験、伝統漁法打ち網漁（追い込み漁）体験、定置網漁体験、港釣りなどの漁業体験はもちろん、特産の「ゆず」の収穫体験や林業間伐体験、5月から10月にかけてできる、シーカヤック、シュノーケリング、サーフィン、ボディーボードなどのマリンスポーツ体験なども楽しめます。

民泊も農林漁家生活体験として受け入れをしており、2011年3月現在の登録件数は97軒で、約300人の宿泊が可能です。

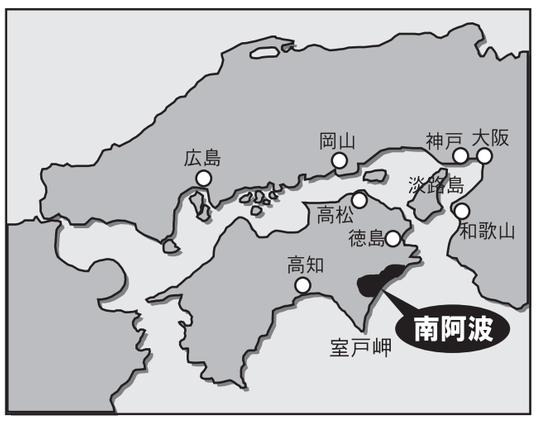
このほか宿泊施設は、ホテル・旅館、民宿、キャンプ場など合わせて32軒の施設が利用可能で、最大で1日約1300人の収容ができます。

このよくばりな体験エリア南阿波をぜひ一度のぞいてみてください。きっと満足していただけると思います。

徳島空港からバスで約100分、新神戸駅からバスで約3時間、意外と近い南阿波へぜひ一度お越しください。

徳島を代表する阿波踊りを本場で体験

南阿波の美しい海でシーカヤックを体験



南阿波よくばり体験推進協議会
〒775-8570 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村7-4　3階
TEL 0884-72-2622　FAX 0884-72-2623
E-mail:yokubari@minamiawa.info
http://www.minamiawa.info

徳島県・そらの郷

心の交流・感動体験
ありのままの農山村で過ごす

一般社団法人そらの郷は、四国のほぼ中心部の徳島県西部に位置し、四国第二の高峰「剣山」と四国三郎吉野川、その代表的な山河の周りに広大な自然と歴史が息づいている地域で活動しています。主な観光スポットは、平家落人伝説の里で知られる日本三大秘境「祖谷地方」、日本三奇橋の1つ「祖谷のかずら橋」、吉野川上流で巨岩、奇岩が有名な「大歩危・小歩危」、「うだつが上がる」の語源となった「うだつの町並み」などがあります。

農山村の暮らし体験

農山村体験のプログラムでは、家人がインストラクターとなって日常の家事そのものを体験として、愛情を持って伝えます。あるがままの生活をしんでいるシーンが見られます。朝起きた時から就寝まで、家族同様に生活をしていきます。

受け入れ家庭の多くは山に張り付いたように建つ家々の集落にあり、都市部からの来訪者は、その景観を目にするだけでとにより、農山村の暮らしを理解し、生活の知恵や農林業の技術を学ぶことができます。初めて会ったときのドキドキした気持ちから次第に打ち解けていき、帰る頃には自然に涙を流して別れを惜しむ農山村の暮らしの生活の知恵や家族の温かさ、近所の人との触れ合い、助け合いの大切さを学ぶことができます。

体験した生徒からは「これからは、人との交流を大切にしたい」「お家の人は毎日こんな苦労をしていると知り驚いた」などの感想が寄せられ、1～3日間の生活を通して、感じてもらっています。

ラフティング体験

今、修学旅行で人気となっているのがラフティングです。ラフティングは、ゴムボートにインストラクターを含め8人が乗り込み、力を合わせて川を下っていきます。ある時は急流をうまく乗り越え、ある時は逆風に立ち向かうために力の限りパドルを漕ぎ、全員が心を1つにしながら目標に向かって進むところが人気の1つです。学校生活の中で普段交流のない生徒同士が1つのボートに乗り、そこから交流が図れたということは珍しくありません。ゴールを目指し、到着したときの達成感と吉野川の両岸に広がる自然の景観美が充実感をもたらします。

一般社団法人そらの郷（旧そらの郷山里物語協議会）では、エリアが広がったことにより体験内容が一層充実し、課外のイベント的な疑似体験ではなく、ありのままの農山村の生活を普段の暮らしのペースで体験してもらえるようにしています。

田舎の親戚の家に泊まりに行く気持ちでお越しください。

農家で日常の家事そのものを体験

酪農体験

大自然を体感するラフティング

自然豊かなそらの郷

一般社団法人そらの郷
〒778-0003 徳島県三好市池田町サラダ1893-1
TEL 0883-76-0713　FAX 0883-72-0753
E-mail:sora@cn05.awaikeda.net
http://www.soranosato.jp/

長崎・北松浦半島

ほんなもん体験
松浦党の里
豊かな心を育む感動体験

私たちの活動の舞台は九州の西端、長崎県北部に位置する北松浦半島とその周辺の島々からなる地域です。源平合戦や元寇の折りに活躍した「松浦党水軍」の本拠地でもあります。この歴史豊かな土地の生業をまるごと体験できるのが「ほんなもん体験」です。

一番人気は漁村、農村での民泊体験です。ありのままの暮らしや自然の営みの中で、家族の一員として過ごし、豊かな心を育む感動のプログラムです。漁村・農村民家ステイ体験の受け入れ能力は最大約1700人で、これを約400戸の民家で支えています。

◆「人間関係を築く力」を高め「健全で平和な心」を育む旅～お勧めは民家に2泊

民家泊での感動は1泊より2泊の方がはるかに大きいようです。1泊した生徒の感想は「もう1日いたかった」、2泊の生徒は「帰りたくない」です。中1日を移動なしでゆったり過ごす2泊3日の民家泊と生業体験がさらに深い感動を醸しているようです。

これまで多くの生徒の皆さんに松浦党の里において頂きましたが、来られた時と帰られる時の心の変容を度々感じます。みんなそろっての夕食、散歩道での星空やたくさんの蛍に感動し家族の優しさに触れ、一家団らんの楽しい時間を過ごすうちに、本当の家族のようになります。

離村式では生徒の皆さんが口々に「帰りたくない」「必ずまた来ます」と言って涙を流し、受け入れ家族と抱き合ったり、握手をする光景をよく目にします。生徒は、民泊や体験活動を通して初めて見ず知らずの人と心が通じ合い信頼関係を築けたことに大きな自信を得て深く感動しています。そして活き活きと活力に満ちた表情に変わっています。

◆心の高まりを感じてほしい

体験活動は農漁業や伝統的食文化、環境への理解を深め、コミュニケーション能力を高める絶好の機会です。「自然とともに生きる人々に出会い、体験や民泊を通して目覚め、そして高まる」、そのような感動体験を1人でも多くの生徒の皆さんに体感してほしいと願っています。

◆さらなる向上を目指す

これからも心と心の交流を深め、豊かな心を育むフィールドとして信頼を高められるよう、安全管理の徹底と体験プログラムの質の向上に努めていきます。

家族の優しさに触れる農村民泊

《松浦党の里ほんなもん体験　修学旅行モデルコース》
3泊4日松浦後泊コース（民家ステイ2泊・2体験プログラム）

日次	行程	宿泊地
1	各空港 →（機内弁当）福岡空港（11:00頃）＝ 都市高速～大宰府IC ＝ 金立SA（休憩）（12:40）＝ 長崎平和学習（13:00）＝ 長崎市内ホテル（14:30）（17:00）（17:20）	長崎
2	ホテル（9:00）＝ 松ケ枝駐車場（9:20）…… 班別自主研修 …… 松ケ枝駐車場（14:30）＝ 大村湾AP（休憩）＝ 相浦中里IC ＝ 松浦党の里　対面式 ※ホストファミリーと対面（17:00）／ 松ケ枝駐車場 ＝ 川登SA（休憩）＝ 武雄北方IC ＝ 松浦党の里	農漁村民家ステイ（1家庭 4～5人）引率者宿泊…近隣の旅館、民宿、ホテル
3	各民家から集合（8:00）＝ 午前 ほんなもん体験（8:30～11:30）＝ 松浦党の里（昼食・休憩）（12:00）（13:00）＝ 午後 ほんなもん体験（13:30～16:30）＝ 各民家へ（17:00）	
4	各民家より集合 離村式（8:30）＝ 武雄北方IC ＝ 金立SA（休憩）（10:00）（10:20）＝ 大宰府IC ＝ 大宰府天満宮（11:00）（13:00）＝ 都市高速 福岡空港（14:00頃）→ 各空港	

一般社団法人まつうら党交流公社
〒859-4501 長崎県松浦市志佐町浦免1808-1
TEL 0956-27-9333　FAX 0956-27-9334
E-mail:kouryu-1ban@matsuurato.jp
URL:http://www.honmono-taiken.jp

広島湾ベイエリア

温暖な気候に恵まれた
広島湾の自然を体験

広島湾域は、多島美で知られる瀬戸内海の西に位置し、厳島神社（宮島）と原爆ドームという2つの世界遺産を有する地域です。湾域の中心部は、中国地方をリードする産業、経済の中心都市の広島市がありますが、少し足を延ばすと湾域全体にわたり豊かな自然に恵まれています。海はもとより、山、里、川とのかかわりが深く、そこに暮らす人々は、穏やかで美しい瀬戸内海の温暖な気候の中で、地域色豊かな生活文化を育んできました。

広島・山口両県の7市3町（広島市、呉市、江田島市、廿日市市、大竹市、岩国市、柳井市、坂町、和木町、周防大島町）の自治体や経済団体などで構成する「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」では、こうした地域の自然や生活文化を生かした体験プログラムを整備し、体験型修学旅行の受け入れを行っています。

当地域には、厳島神社（宮島）と原爆ドームという2つの世界遺産に加え、呉市の「大和ミュージアム」、江田島市の「海上自衛隊第1術科学校」など、日本を代表する歴史・文化遺産を有しており、世界平和への取り組みはもとより、日本の伝統や歴史文化を体験学習できます。

また、穏やかな風波、潮流、適切な水温に恵まれた広島湾では、カキ養殖をはじめ、底引き網漁、吾智網漁、刺し網漁といった漁法で、アジ、メバル、黒鯛、タチウオなどの漁業が盛んです。また、広島湾域の温暖な気候は、「みかん」をはじめとした野菜・柑橘類の栽培にも適しており、他の地域にはない自然環境の中で、農林漁業をのびのびと体験することができます。なかでも、島しょ部に暮らす人々との民泊体験では、心の交流を深め、子供たち一人ひとりの大切な思い出として刻まれます。

広島湾各地から

【倉橋島】

呉市南方の瀬戸内海に浮かぶ倉橋島では、瀬戸内海のカレイやシタビラメといった底もののおいしい魚を狙い、網を揚げる底引き網漁、獲れた魚を使ったバーベキュー、その他、アジの開きづくり指導や、漁村生活を語らう交流体験など、「楽しく学ぶ」をモットーに子供たちをお迎えしております。

【周防大島】

周防大島は、山口県東南部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ島では3番目の広さを誇り、年間平均気温15・5度と温暖な、青く澄みわたる瀬戸内の海と四季の彩り豊かな美しい自然から、漁業、農業はもとよりスポーツ、レジャーが盛んな町です。この島の修学旅行は、民泊を通じて、日々自然と向き合って生きている島人が農業、漁業などの家業（生業）を伝えながら、ふれあい交流を図るものです。民泊家庭は、現在120軒にのぼり、2011年には150軒に増やし、450人までの受け入れができる態勢をめざしています。

【平和学習】

広島は、第二次世界大戦中の1945年（昭和20年）8月6日、世界で初めて原子爆弾が投下され、大きな被害を受けました。原爆ドーム、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、慰霊碑、被爆建物などの見学や被爆体験証言者の話から、原爆の恐ろしさ、非人道性を肌で感じます。被爆地広島で、「核兵器が人類の破滅をもたらし、人類とは共存しない兵器であること」「戦争が多くの命や愛する家族、友人、財産を奪ってきたこと」「命の大切さ」を学んでください。

世界遺産に登録されている広島の原爆ドーム

倉橋島の底引き網漁体験

地引き網・みかん収穫体験（周防大島）

宮島シーカヤック

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　商工部　観光振興チーム内）
担当（大巳・近棟）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6651　FAX 082-222-6411
E-mail:Hiroshima@hiroshimacci.or.jp
http://www.hiroshima-marugoto.jp/